

超軽量樹脂製敷板 PSライト

- ・ 最軽量の敷板
- ・ 強度と柔軟性を併せ持つ
- ・ 滑り止め加工付き

寸法 910 mm×1,820 mm×18 mm、重量 6.7kg

国土交通省
NETIS
登録商品
登録番号

KT-160045-A

- ・ 改修工事やリニューアル工事等、既設の床またはフラットな地面を保護する養生材として最適。
- ・ 学校のグラウンドや芝生の広場など、整地された地面の保護にも適しています。
- ・ 超軽量なので、敷設・撤去・移動が人力で行えます。安全且つ作業時間を大幅に短縮。
- ・ 高強度で防振性能があります。

強固な耐荷重・超軽量の樹脂製次世代敷板

■ 特長

1. 910 mm × 1,820 mm × 厚み 18 mm : 6.7kg
2. 耐荷重 : 40ton / m²
3. 超軽量なので敷設が簡単。重機もいりません。荷降ろしや荷積みも、人力で可能です。
4. 荷台に収まればライトバンでも運べます。※寸法をご確認ください。
(参考) AD バン荷台寸法 : 長さ 1,952 × 幅 1,150 × 高さ 940(mm)
5. 短時間での設置撤去が可能。オプションの連結用部品で板同士を接続できます。
6. 表面は硬い素材ですが、内部にクッション性があり床を傷めません。また、車両等が走行しても衝撃が少なく静か。大型車両の走行も可能です。
7. バタつきによる跳ね返りが少なく安全。
8. 裏面は、滑り止め加工。表面も滑りにくくグリップ力があります。



本製品は樹脂製品のため、従来の”敷き鉄板”とは用途が異なります。

■ 従来品との比較

《敷き鉄板の特徴》

1. 非常に重いので、クレーン等の揚重機での敷き並べ作業となります。搬出入等運搬は大型のトラックやトレーラーが必要。
2. 剛性が高く硬いので敷設面に多少の凸凹があっても、砂利面等であっても使用することができます。
3. 重いので風が吹いても飛ばされることはありません。
4. 敷設面が安定していないと鉄板ごとに段差や角ができ、大変危険です。現場では、当て板を溶接してバタつきを無くして使用しています。敷設及び撤去に時間と費用が掛かりますが、長期使用に向いています。

《従来型プラスチック製敷板の特徴》

1. 超軽量樹脂製敷板に比較して、質量が大きい(22kg)ので、強風へのデメリットが小さくなりますが、硬いのでバタつきが生じます。
2. 重たい分、一人での作業は重労働になり手間もかかります。
3. その他の性能は、超軽量樹脂製敷板とほぼ同様です。



禁止

1. ブリッジでのご使用・穴の径が大きく車輛等の重量がかかる場合
2. クレーンのアウトリガー用敷板としてのご使用
3. 車両などの走行にあたって急発進、急停車、急ハンドル
4. 軟弱地盤や崩落の恐れのある傾斜地でのご使用



注意

1. 布設面が凸凹や碎石等のフラットでない場所に設置すると、板が底面に沿って曲がったり、破損したりします。
2. 鉄キャタでの走行はできません。(ゴム製のクローラーは走行可能)
3. 強風等のある環境では飛散の可能性がありますので、連結して重りを置く等の工夫が必要です。
4. 夏場の灼熱路面や冬場の凍結面では、緩やかな反りが発生します。敷板の表裏の温度が均一になれば元に戻ります。
5. ポリオレフィン製なので、火(熱)に弱く、近くでバーナーを使用したり、溶接などを行うと、溶ける恐れがあります。

●このカタログに記載の規格・仕様・外観等は、改良のため変更することがあります。 ●詳しくは、弊社担当者までお気軽にご相談ください。

サコス株式会社

本社 〒141-0022 東京都品川区東五反田 4-5-3

東 京 〒164-0011 東京都中野区中央 3-1-4
神 奈 川 〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町 3823
西 関 〒190-1213 東京都西多摩郡瑞穂町武蔵 5-1
関 東 〒555-0042 大阪府大阪市西淀川区西島 1-1-146
特 需 〒279-0025 千葉県浦安市鉄鋼通り 2-1-5
鉄 道 〒279-0025 千葉県浦安市鉄鋼通り 3-1-9
名 古 屋 〒455-0843 愛知県名古屋市中区錦町 26-4

TEL : 03-5330-0480 FAX : 03-5330-0745
TEL : 045-929-2270 FAX : 045-933-5552
TEL : 042-556-3329 FAX : 042-556-8340
TEL : 06-6477-2514 FAX : 06-6477-2587
TEL : 047-304-7815 FAX : 047-304-7882
TEL : 047-316-5070 FAX : 047-380-1405
TEL : 052-389-2670 FAX : 052-389-2677

お問い合わせ